

皆さんお元気でお過ごしのことと存じます。

コロナ禍もなんのその、それどころか、コロナに背中を押されて？4月13日、いつもの沖縄行と同じバッグ一つで客の少ないガラーンとした那覇空港に降り立ち、予約済みのPCR検査を5分(県外者¥5,000)で済ませ、タクシーで那覇新港へ。ひと足早く着いていた我が査定10万円の愛車を受け取り、辺野古の一泊2,000円(朝食付き、夕食はプラス400円)のドミトリタイプのゲストハウスへ直行。

翌日午後、メールでPCR検査陰性の報せを受ける。

未だ本決まりになってない第一候補の引っ越し先の大家さんとの面会を翌日に約し、念の為、新居候補まで、ドライブ。21km、30分。

先方は私と会って人柄を見てから決めたいとのことだが、私の方は「本音は私の75才と言う年齢がきになってるのでは？」と思っていた。

翌日、会って、私も、物件を見せて貰って、その場で相思相愛の即決。少し外溝工事が残っているので、と言うことで5月1日より入居が決定。直ちに、妻に5月1日着で届くよう作って発送するだけにして来た荷物を日通に手配するよう依頼。

これとは別に、修理に出しておいたモーターパラグライダーの一式も、同日着の発送依頼。では5月1日までの約2週間、優雅でのんびりした沖縄ライフが待っている~~~~~と  
思いきや、疾風怒濤の1ヶ月。疲労困憊、Facebookに投稿する余裕もなく、他人投稿のシェアで代用の毎日。ゴメンクサ〜イ。

(第一回目はここまで)

iPhoneから送信

《前回から続く》

4月15日(木) 目出たく沖縄での生活の拠点——新居決定となった。荷物送付等連絡をまず第一に行った。

4月16日(金) 辺野古ゲート前へ。沖縄県の不要不急の外出自粛要請により、オール沖縄も組織的阻止行動を休止しているが、沖縄防衛局は作業を休止する気はない。こんな時こそ、有志による阻止行動は例え少人数とは言え役に立っている。

4月17日(土)～18日(日) 渡沖前に予約しておいた、夢有民(むーみん)牧場での、牧場体験と乗馬訓練。生まれて初めて手綱を自分で持ち自分でコントロールして約2時間の乗馬。途中少しだが早足で走らせる体験もあった。又、新たな誘惑に誘われることになろう。

4月20日(火) うるま市市長選、市議補選の応援に出向き、選挙チラシの個別ポスティング。うっかり、半袖Tシャツだけで腕カバーを忘れたら、初日から強い紫外線にやられ、その夜から、湿疹、熱持ち。これからは注意しよう！

4月21日(水) 自分の住んでいる沖縄北部の名護市から沖縄最南部の糸満市に新たに出来た友人と向かった。辺野古の海を埋めるために沖縄戦戦没者の遺骨眠る土砂を違法にも掘り起こして、ボランティア・ガマフヤーの具志堅隆松さんに指摘され、中断している熊野鉦山、荒崎海岸の掘削現場視察、新装オープンになった「ひめゆり記念館」訪問。

4月22日(木) 午前中ゲート前座り込み午後うるま市選挙応援、ポスティング、ウグイス爺を初めて体験。

4月23日(金) 新居へ、よく観察。

4月24日(土) 3年前の4月25日に辺野古新基地建設の為の護岸の一石が投げられたことへの4.24抗議集会在辺野古の浜で行われた。ヘリ基地反対協へのこブルーの主催のもと、芥川賞作家目取真俊さんもいつものカヌー乗船スタイルで挨拶にたち、ジョー(バイデン)、ヨシ(菅義偉)の寸劇あったりと、明るい雰囲気にも包まれた。

この後、選挙戦最後の日となったうるま市市長選・市議補選の応援に行った。ポスティングより、ウグイス爺を多くやった。

3日間選挙運動に関わったがその中で、勝蓮半島の先、宮城島などに、辺野古埋め立て用と思われる掘削された琉球石灰岩の山があった。又、巨大石油基地、海の流れを堰き止める海中道路、勝蓮城跡等を見ることができた。

25日(日) ニューヨークから来ているジャーナリスト大竹秀子(71)さんを案内して辺戸岬、本土復帰闘争碑を、又本土復帰前の1970年末に闘われた「伊部岳実弾射撃演習阻止闘争碑」を見学。彼女は3年程前の宿仲間、旧知の中。ここを皮切りに、2人の珍道中へと発展して行く。とにかく彼女の取材力、人的繋がり、目を見張るものがある。

4月26日(月) 引っ越しに伴う冷蔵庫、テレビ、電子レンジ等、家電を購入。配達日は29日午後。

《次回へ続く》

iPhoneから送信